

子供を大切に思う親の チャイルドシート 選び方BOOK

製品別安全性能
比較評価一覧



国土交通省



独立行政法人自動車事故対策機構

より信頼できる安全な製品を 選びたいと思いませんか?

国土交通省と自動車事故対策機構では、市販のチャイルドシートについて前面衝突試験と使用性評価試験を行い、その結果を安全性能の評価として公表しています。皆さまの大切なお子さんのために、このパンフレットをご活用いただきより安全なチャイルドシートを選んでいただければと思います。

チャイルドシート アセスメントの目的

信頼できる安全性能評価を公表して、より安全な製品を選択しやすい環境を整えるとともに、製作者によるより安全な製品の開発を促すことによって、安全なチャイルドシートの普及を促進しようとするものです。

安全性能の評価の見方

商品名	1 現基準適合品 E43045087 (2011年度実施)	メーカー名
	1 現基準適合品 E43045087 (2011年度実施)	
2 取扱いDVD付属	3 前面衝突試験	4 使用性評価試験
14.0 kg	破損の状況 シート背もたれの傾き シート底面の傾き 頭部のはみ出し 頭部の移動量 頭部に受ける力 胸部に受ける力 胸のたわみ その他の事象	着座のさせやすさ 車への装着性 本体の構造
総合評価 I 前面衝突試験 良 優 良 II 使用性評価試験 3.5 3.2 3.4		

1 チャイルドシート安全基準マーク 20ページ参照

2 乳児用(ベッド型) 乳児用 幼児用

3 前面衝突試験の評価 試験結果に基づく評価を「優」、「良」、「普通」、「推奨せず」の4段階で表しています。

4 使用性評価試験 使いやすさや取り付け方など使用性について内容ごとに5点満点で点数をつけて、評価項目ごとの平均点を“グラフ”で表示しています。

16・17ページ参照

チャイルドシートは正しい知識で安全に利用しましょう

警察庁と日本自動車連盟(JAF)の調査によれば、チャイルドシートを使っている人の約6割が正しく取り付けられていませんでした。

正しい取り付けに関する情報は20・21ページに掲載されています。

カテゴリー別掲載製品一覧

ISO FIX 共通取付具タイプ。
NEW 本年度試験を行った製品です。

メーカー名(輸入品にあっては発売元)	製品名	カテゴリー
Combi コンビ(株)	グッドキャリー 4	乳児専用 ベビーシートと呼ばれることがあります。 ベルト固定タイプ
MAXICOSI (株)GMPインターナショナル	マキシコシ・カブリオフィックス 4	
Römer 伊藤忠リテイルリンク(株)	レーマー・ベビーセーフプレミアム 4	
TAKATA タカタ(株)	ISO FIX takata04-i fix 5	乳児用・幼児用 (兼用タイプ) (1台で、2通りの使い方ができる機種) ISO FIX 固定タイプ
AILEBEBE (株)カーメイト	ISO FIX NEW エールベベ・キュートフィックス 5	
Aprica アップリカチルドレンズプロダクツ(株)	フラディア 6 ペッティーSTD 6 マシマロベッドグランデWサーM750 6	乳児用・幼児用 (兼用タイプ)ベッド型含む (1台で、3通りの使い方ができる機種) ベルト固定タイプ
KATOJI (株)カトージ	NEW Joieチャイルドシートチルト 7	
AILEBEBE (株)カーメイト	エールベベ・クルットNT 7	
Combi コンビ(株)	ラクティアターン 7 コッコロ UX 8 マルゴット 8	
TAKATA タカタ(株)	takata04-pops 8 takata04-smartfix 9 takata04-symphonyEC 9 トヨタG-Child plus 9	
Pigeon ピジョン(株)	cuna 10 ピピデビュー 10 パミオドゥーエ 10 ユーロビギン 11 パミオウーノ 11	
LEAMAN リーマン(株)		
Aprica アップリカチルドレンズプロダクツ(株)	ユーロハーネス 12 ユーロジュニア 12	幼児専用 チャイルドシートと呼ばれることがあります。 ベルト固定タイプ
AILEBEBE (株)カーメイト	エールベベ・グローバ 12	
Combi コンビ(株)	ジョイトリップ 13	
Nihonikuji (株)日本育児	NEW トラベルベストEC 13 NEW ハイバックブースターEC 13	
LEAMAN リーマン(株)	NEW フィーカ 14	
RECARO レカロチャイルドセーフティ(株)	Young Sport 14 RECARO Start R1 14	

注：対象となる身長、年齢は目安です。
2001年から試験を実施していますが、過去の製品につきましてはホームページをご覧ください。http://www.nasva.go.jp/mamoru/child_seat_search

ベルト固定タイプ

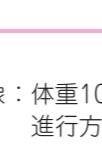


グッドキャリー



現基準適合品 E404443638 (2007年度実施)

Combi

対象：体重10kg未満用又は13kg未満
進行方向に対して後ろ向きに使用

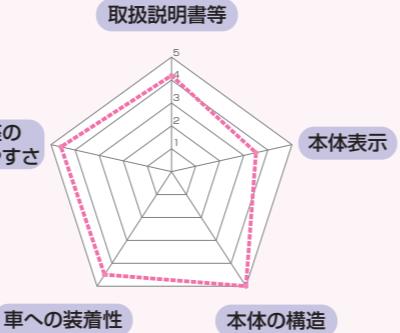
総合評価	
I 前面衝突試験	良
II 使用性評価試験	4.4

I 前面衝突試験



破損の状況	○
シート背もたれの傾き	○
頭部のはみ出し	○
胸部に受ける力	○
その他の事象	なし

II 使用性評価試験

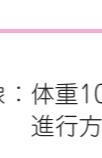


マキシコシ・カブリオフィックス



現基準適合品 E404443517 (2008年度実施)

MAXI-COSI



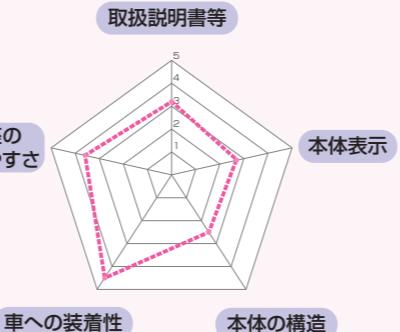
総合評価	
I 前面衝突試験	良
II 使用性評価試験	3.3

I 前面衝突試験



破損の状況	○
シート背もたれの傾き	○
頭部のはみ出し	○
胸部に受ける力	○
その他の事象	なし

II 使用性評価試験

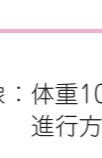


レーマー・ベビーセーフプレミアム



現基準適合品 E104301146 (2009年度実施)

Römer



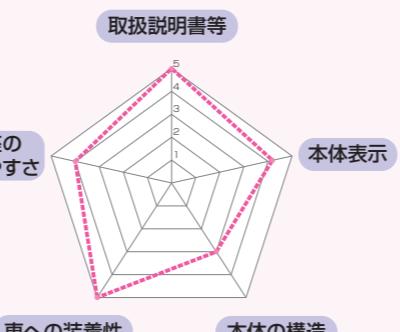
総合評価	
I 前面衝突試験	優
II 使用性評価試験	4.2

I 前面衝突試験



破損の状況	○
シート背もたれの傾き	○
頭部のはみ出し	○
胸部に受ける力	○
その他の事象	なし

II 使用性評価試験



ISO-FIX 固定タイプ



乳児用・幼児用(兼用タイプ)



takata04-i fix

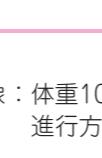
現基準適合品 E4344R040004 (2012年度実施)

TAKATA

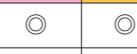
ISO-FIX



10.9 kg



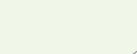
I 前面衝突試験



破損の状況	○	○
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○

胸部に受ける力	○	○
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



エールベベ・キュートフィックス

現基準適合品 E444044121/E444044122 (2012年度実施)

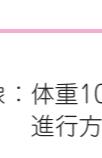
AILE BEBE



ISO-FIX

NEW

8.4 kg



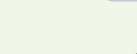
I 前面衝突試験



破損の状況	○	○
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○

胸部に受ける力	○	○
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



ISO-FIX対応チャイルドシートとは

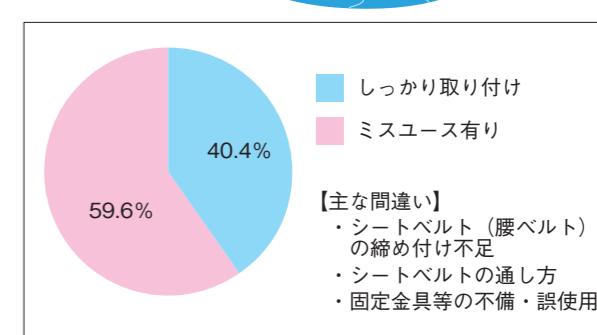
ISO-FIX チャイルドシートとは自動車に装備された取り付け金具 (ISO-FIX アンカー) とチャイルドシートに取り付けられている金具を直接結合して固定するタイプのチャイルドシートです。

従来の自動車用シートベルトで固定するタイプと比べ、

1. 簡単に装着できる。
 2. 誰が装着しても間違えにくい。
 3. 確実に取り付けやすい。
- などの利点があります。

2012年7月以降発売された全ての乗用車には取り付け金具の装備が義務化されています。

*2012年7月以前に発売された乗用車にも取り付け金具が装備されているものもあります。お使いの自動車の取扱説明書をご確認ください。



ベルト固定タイプ

ベッド型含む



乳児用・幼児用(兼用タイプ)



フラディア



取扱いDVD付属
14.0 kg

総合評価			
I 前面衝突試験	良	優	良
II 使用性評価試験	3.5	3.2	3.4

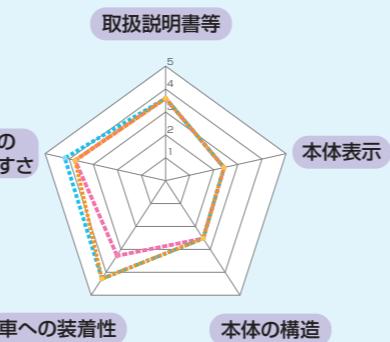
現基準適合品 E13045087 (2011年度実施) Aprica

I 前面衝突試験



破損の状況	○	○	○
シート背もたれの傾き	-	○	-
シート底面の傾き	○	-	-
頭部のはみ出し	-	○	-
頭部の移動量	○	-	○
頭部に受ける力	-	-	○
胸部に受ける力	○	○	○
胸のたわみ	-	-	なし
その他の事象	なし	なし	なし

II 使用性評価試験



Joieチャイルドシートチルト



6.1 kg

総合評価		
I 前面衝突試験	優	良
II 使用性評価試験	3.0	3.5

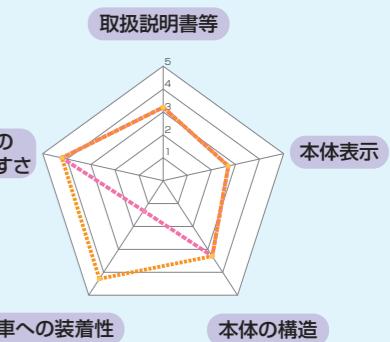
現基準適合品 E404444103 (2012年度実施) KATOJI

I 前面衝突試験



破損の状況	○	○
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	○
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



ベッティーノSTD



取扱いDVD付属
14.3 kg

総合評価			
I 前面衝突試験	普	普	普
II 使用性評価試験	3.5	3.3	3.5

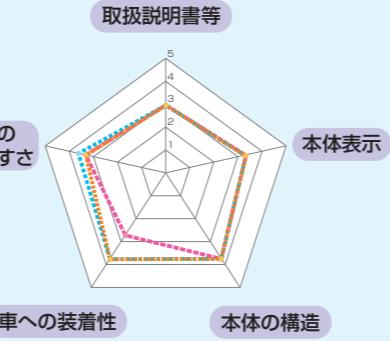
現基準適合品 E13040068 (2008年度実施) Aprica

I 前面衝突試験



破損の状況	○	○	○
シート背もたれの傾き	-	○	-
シート底面の傾き	○	-	-
頭部のはみ出し	-	○	-
頭部の移動量	○	-	○
頭部に受ける力	-	-	○
胸部に受ける力	○	○	○
その他の事象	なし	なし	なし

II 使用性評価試験



エールベベ・クレットNT



取扱いDVD付属
13.3 kg

総合評価		
I 前面衝突試験	良	優
II 使用性評価試験	4.5	4.5

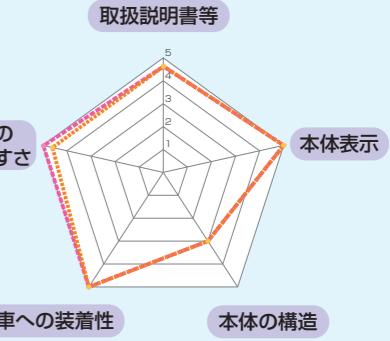
現基準適合品 E404443842 (2010年度実施) AILEBEBE

I 前面衝突試験



破損の状況	○※1	○※1
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	○
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



マシュマロベッドグランデWサーM750



取扱いDVD付属
14.2 kg

総合評価			
I 前面衝突試験	良	良	普
II 使用性評価試験	3.0	3.0	3.0

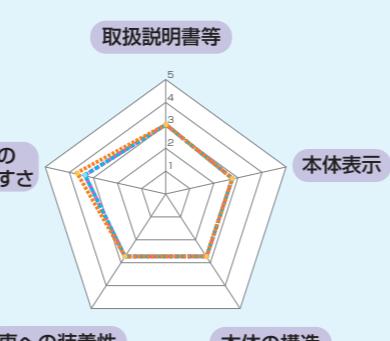
旧基準適合品 C-2537 (2008年度実施) Aprica

I 前面衝突試験



破損の状況	○	○	○
シート背もたれの傾き	-	○	-
シート底面の傾き	○	-	-
頭部のはみ出し	-	○	-
頭部の移動量	○	-	○
頭部に受ける力	-	-	○
胸部に受ける力	○	○	○
その他の事象	なし	なし	なし

II 使用性評価試験



ラクティアター



取扱いDVD付属
14.9 kg

総合評価		
I 前面衝突試験	良	普
II 使用性評価試験	4.1	4.2

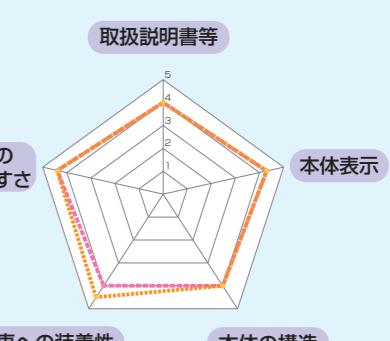
現基準適合品 E4043840 (2009年度実施) Combi

I 前面衝突試験



破損の状況	○※1	○※2
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	○
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



ベルト固定タイプ

ベッド型含む



乳児用・幼児用(兼用タイプ)



コッコロ UX



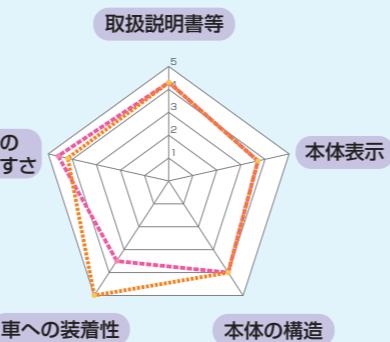
現基準適合品 E13 045025 (2008年度実施)

Combi

I 前面衝突試験

破損の状況	○	○
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	○
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



総合評価		
I 前面衝突試験	良	普
II 使用性評価試験	4.0	4.2

マルゴット



NEW

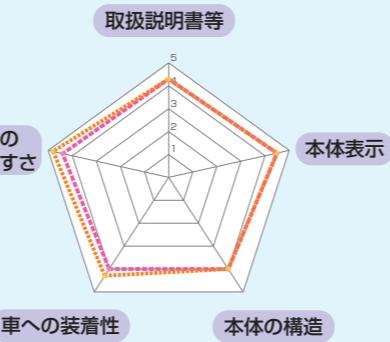
現基準適合品 E4044203 (2012年度実施)

Combi

I 前面衝突試験

破損の状況	○	○
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	○
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



総合評価		
I 前面衝突試験	優	良
II 使用性評価試験	4.2	4.4

takata04-pops



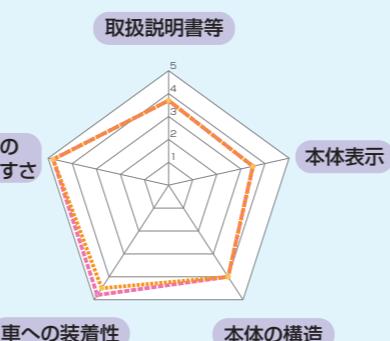
現基準適合品 E4344R040002 (2011年度実施)

TAKATA

I 前面衝突試験

破損の状況	○	○
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	○
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



総合評価		
I 前面衝突試験	優	普
II 使用性評価試験	4.2	4.1

takata04-smartfix



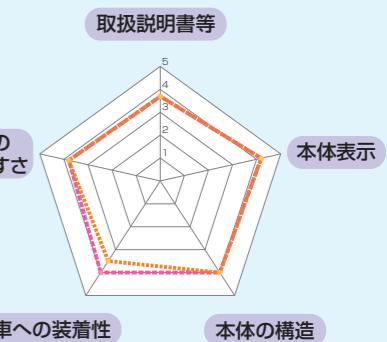
現基準適合品 E404443909 (2010年度実施)

TAKATA

I 前面衝突試験

破損の状況	○	○
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	○
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



総合評価		
I 前面衝突試験	優	優
II 使用性評価試験	3.9	3.8

takata04-symphonyEC



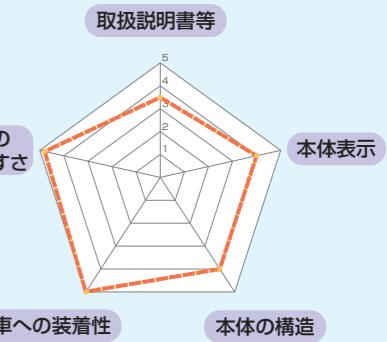
現基準適合品 E404443812 (2008年度実施)

TAKATA

I 前面衝突試験

破損の状況	○	○
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	○
胸のたわみ	なし	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



総合評価		
I 前面衝突試験	優	普
II 使用性評価試験	4.3	4.3

トヨタG-Child plus



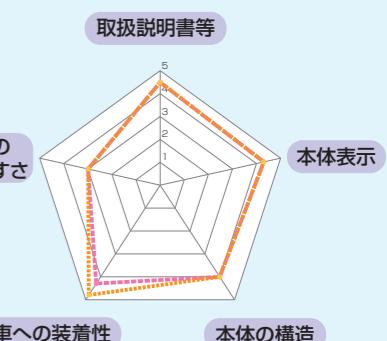
旧基準適合品 C-2047 (2004年度実施)

TAKATA

I 前面衝突試験

破損の状況	○	○
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	○
胸のたわみ	なし	なし
その他の事象	なし	なし

II 使用性評価試験



総合評価		
I 前面衝突試験	優	良
II 使用性評価試験	4.0	4.1

ベルト固定タイプ

ベッド型含む



乳児用・幼児用(兼用タイプ)



cuna



現基準適合品 E11040215 (2011年度実施)

pigeon

I 前面衝突試験



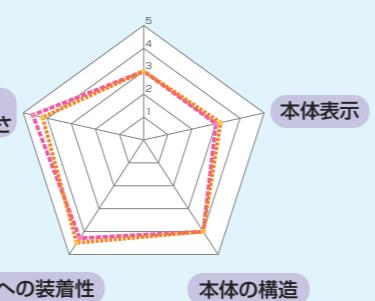
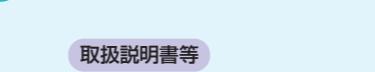
破損の状況	○	○
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	○
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

総合評価

I 前面衝突試験

II 使用性評価試験

II 使用性評価試験



5.6 kg

優

普

3.8

3.8

ピピデビュー



現基準適合品 E8045981 (2011年度実施)

LEAMAN

I 前面衝突試験



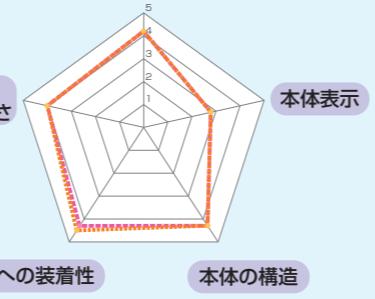
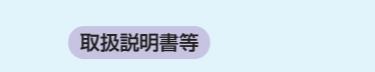
破損の状況	○	○
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	○
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

総合評価

I 前面衝突試験

II 使用性評価試験

II 使用性評価試験



6.4 kg

優

良

3.9

4.0

パミオドゥーエ



現基準適合品 E8044399 (2009年度実施)

LEAMAN

I 前面衝突試験



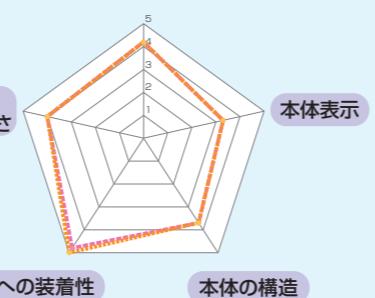
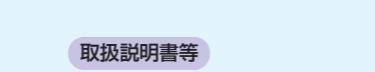
破損の状況	○	○
シート背もたれの傾き	○	-
頭部のはみ出し	○	-
頭部の移動量	-	○
頭部に受ける力	-	○
胸部に受ける力	○	○
胸のたわみ	-	なし
その他の事象	なし	なし

総合評価

I 前面衝突試験

II 使用性評価試験

II 使用性評価試験



7.4 kg

優

良

4.0

4.0

ユーロビギン

現基準適合品 E8044400 (2007年度実施)

LEAMAN



6.3 kg

総合評価

I 前面衝突試験

II 使用性評価試験

優

普

4.0

4.1

パミオウーノ

現基準適合品 E8044159 (2006年度実施)

LEAMAN



6.7 kg

総合評価

I 前面衝突試験

II 使用性評価試験

良

普

4.2

4.3

パワーウィンドの注意喚起

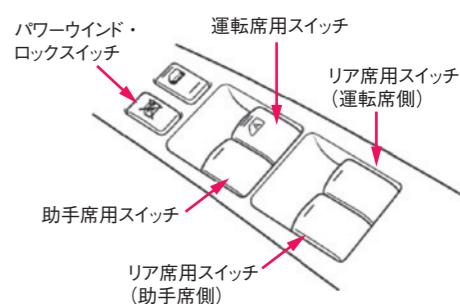
自動車のパワーウィンドで指等を挟み込まないように注意しましょう!

パワーウィンド（スイッチを操作することにより窓ガラスを電動で開閉する装置）によって、指等を挟み込み骨折等をする事故が発生しています。

パワーウィンドを操作する場合には、子どもの指等を挟み込まないように注意すると共に子どもが操作しないように注意しましょう。また、小さな子どもを置いて車から離れないようにしましょう。

パワーウィンド使用上の注意

- パワーウィンドの構造上の特性や、所有している自動車の操作方法を理解しましょう。
- 取扱説明書の使用上の注意を再確認しましょう。
- オート作動する窓には、挟み込み防止機能がついていますが、窓ガラスを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、挟み込みを検知できない領域があります。
- 後部座席等に子どもが乗っている状況ではパワーウィンドのロック機能及びチャイルドシートを使用しましょう。
- 他席のウインドの操作の前には、声かけや確認を行いましょう。



ベルト固定タイプ



ユーロハーネス



9.3 kg

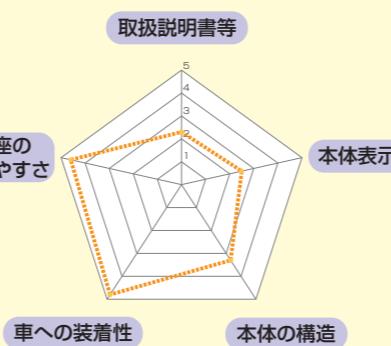
総合評価	
I 前面衝突試験	良
II 使用性評価試験	3.5

I 前面衝突試験



破損の状況	○
頭部の移動量	○
頭部に受ける力	○
胸部に受ける力	○
胸のたわみ	なし
その他の事象	なし

II 使用性評価試験



Aprica

ユーロジュニア



6.5 kg

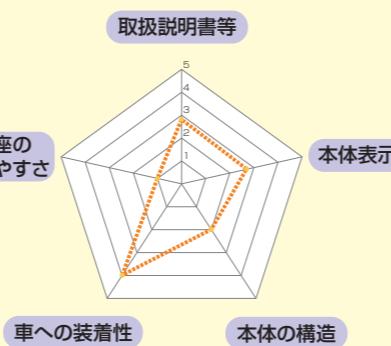
総合評価	
I 前面衝突試験	インパクトシールドタイプであるため、評価は行わない。(P16・17の評価方法を参照。)
II 使用性評価試験	2.5

I 前面衝突試験



破損の状況	○
頭部の移動量	○
頭部に受ける力	○
胸部に受ける力	○
その他の事象	ダメーの肋骨が最大まで変形した。 (現在、胸部の変形の評価方法は確立していない。)

II 使用性評価試験



Aprica

エールベベ・グローバ



7.4 kg

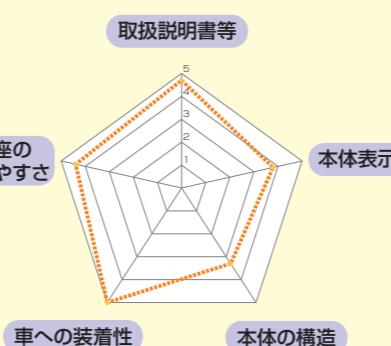
総合評価	
I 前面衝突試験	良
II 使用性評価試験	4.2

I 前面衝突試験



破損の状況	○
頭部の移動量	○
頭部に受ける力	○
胸部に受ける力	○
胸のたわみ	なし
その他の事象	なし

II 使用性評価試験



AILE BEBE

ジョイトリップ



4.9 kg

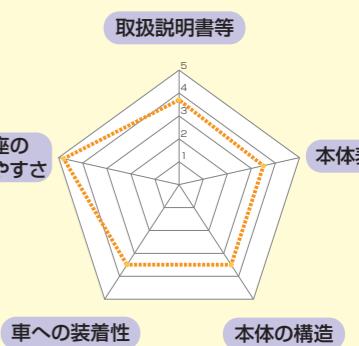
総合評価	
I 前面衝突試験	普
II 使用性評価試験	3.8

I 前面衝突試験



破損の状況	○
頭部の移動量	○
頭部に受ける力	○
胸部に受ける力	○
胸のたわみ	なし
その他の事象	なし

II 使用性評価試験



Combi

トラベルベストEC



2.1 kg

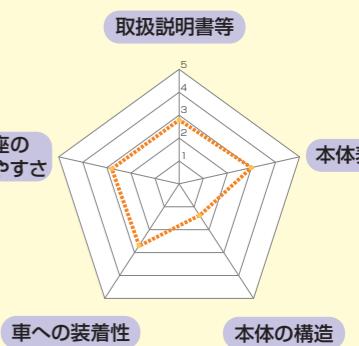
総合評価	
I 前面衝突試験	普
II 使用性評価試験	2.6

I 前面衝突試験



破損の状況	○
頭部の移動量	○
頭部に受ける力	○
胸部に受ける力	○
胸のたわみ	なし
その他の事象	なし

II 使用性評価試験



Nihonikuji

ハイバックブースターEC



3.9 kg

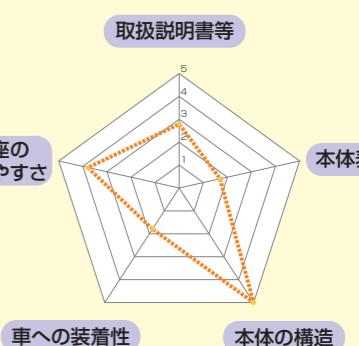
総合評価	
I 前面衝突試験	推奨せず
II 使用性評価試験	3.0

I 前面衝突試験



破損の状況	○*
頭部の移動量	×
頭部に受ける力	○
胸部に受ける力	○
胸のたわみ	なし
その他の事象	なし

II 使用性評価試験



Nihonikuji

ベルト固定タイプ



フィーカ

NEW



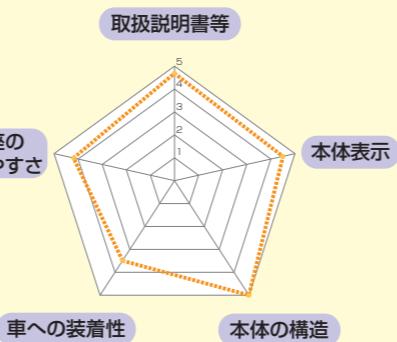
5.4 kg

総合評価	
I 前面衝突試験	
II 使用性評価試験	4.4

I 前面衝突試験

破損の状況	○
頭部の移動量	○
頭部に受ける力	○
胸部に受ける力	○
胸のたわみ	なし
その他の事象	なし

II 使用性評価試験



Young Sport



8.4 kg

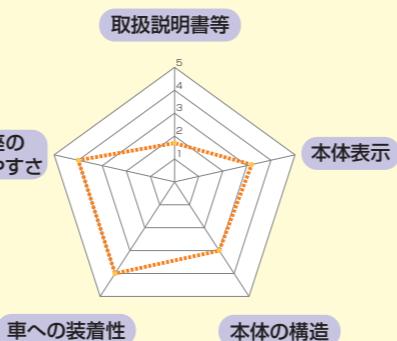
総合評価	
I 前面衝突試験	
II 使用性評価試験	3.2

I 前面衝突試験

破損の状況	○
頭部の移動量	○
頭部に受ける力	○
胸部に受ける力	○
胸のたわみ	なし
その他の事象	なし*

*ロックオフデバイスの破断があり、破断した碎片がダミーに接触した。

II 使用性評価試験



RECARO Start R1



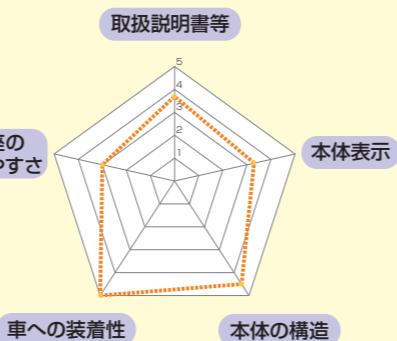
5.0 kg

総合評価	
I 前面衝突試験	インパクトシールドタイプであるため、評価は行わない。(P16~17の評価方法を参照。)
II 使用性評価試験	3.9

I 前面衝突試験

破損の状況	○
頭部の移動量	○
頭部に受ける力	○
胸部に受ける力	○
その他の事象	ダメーの肋骨が最大まで変形した。(現在、胸部の変形の評価方法は確立していない。)

II 使用性評価試験

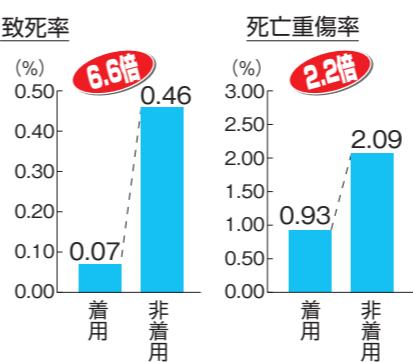


I 前面衝突試験 (詳細はP16~17) **Ⅴ 優** 4つの項目がすべて○の場合(×が1つもある場合は除く。)
4つの項目の中で○が3つ、○が1つの場合(×が1つもある場合は除く。)
Ⅳ 普通 「優」、「良」および「推薦せず」に該当しない場合
Ⅲ 推奨せず 評価項目の中で1つでも×があった場合
Ⅱ 旧基準適合品 2006年10月に施行された国内基準に適合したもの。なお、この基準は現行の国連基準(ECE規則第44号第4改訂版)と同じものです。
Ⅰ 現基準適合品 2000年1月に施行された国内基準に、適合したもの。この基準は、2012年7月まで適用が終了したため「旧基準適合品」と呼称しています。

チャイルドシート着用の効果

チャイルドシートをしないとどうなるの?

■ チャイルドシートの有無の致死率 死亡重傷率の比較



チャイルドシートの着用、非着用の事故データを見ると、着用時と非着用時では致死率、死亡重傷率に大きな差があることがわかります。被害を最小限にするためにも、安全な製品選び、正しく使用しましょう。

■ 2012年中の6歳未満の幼児の自動車同乗中の交通事故発生状況

被害状況	被害者数				被害率	
	死者数	重傷者数	軽傷者数	計	致死率	死亡重傷率
チャイルドシート着用の有無						
着用	5人	60人	6,899人	6,964人	0.07%	0.93%
非着用	11人	39人	2,343人	2,393人	0.46%	2.09%
着用不明	0人	3人	113人	116人	0.00%	2.59%

(注)・致死率=死者数÷全死傷者数×100[%] - 死亡重傷率=(死者数+重傷者数)÷全死傷者数×100[%]
・警察庁資料より抜粋

チャイルドシート使用状況全国調査

警察庁／日本自動車連盟（JAF）

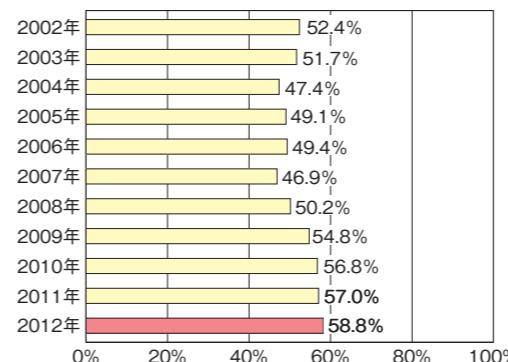
JAF（社団法人日本自動車連盟）と警察庁は、自動車乗車中の6歳未満の子どもを対象に「チャイルドシートの使用状況」と「チャイルドシートの取り付け状況」等の合同調査を全国で実施しました。結果（要旨）は、以下の通りとなります。

● チャイルドシート使用状況調査結果

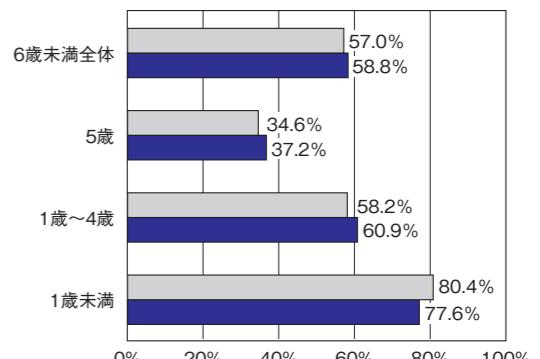
調査期間 2012年4月20日(金)～4月30日(月)
調査場所 全国100か所
調査対象 12,941人

2011 2012

使用率の経年推移

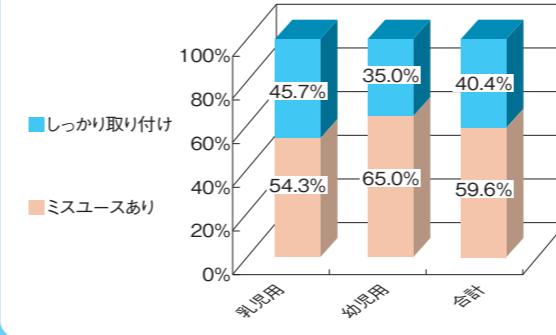


年齢別チャイルドシート使用率(前年比較)



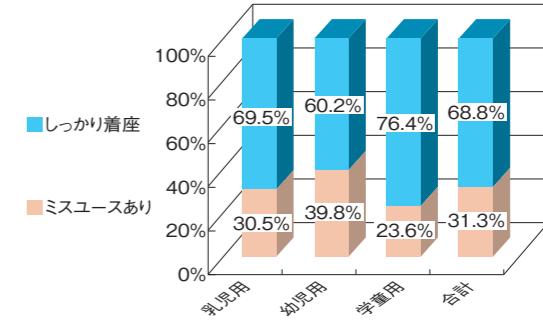
● チャイルドシート取り付け状況調査結果

調査期間 2012年4月20日(金)～4月30日(月)
調査場所 全国8地域
(北海道・宮城・東京・愛知・大阪・広島・香川・福岡)



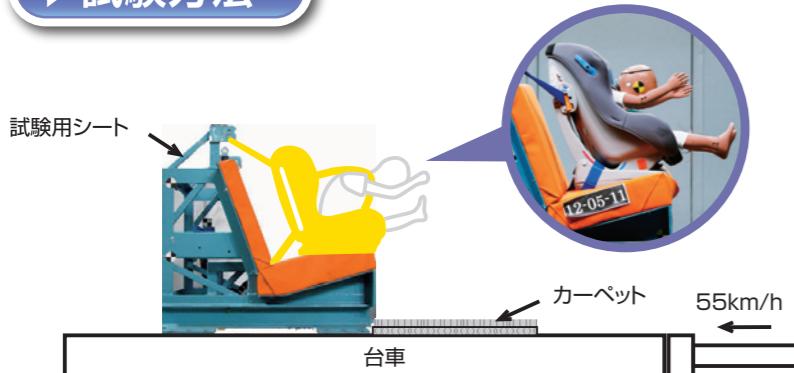
● チャイルドシート着座状況調査結果

期間、場所、対象者は取り付け状況調査と同じ。



I 前面衝突試験

▶ 試験方法



台車に固定された試験用シートに子供ダミーを乗せたチャイルドシートを取り付け、その台車を速度変化が時速55km(国の安全基準の速度の1割増)となるように打ち出すことにより、自動車が前面衝突した場合と同様の衝撃を発生させます。その時、チャイルドシートの取付部等の破損状況、ダミーの頭部や胸部の合成加速度、ダミー頭部の前方への移動量、ダミーの拘束状態の加害性などの項目を計測します。

- 試験では一般の量販店で普通に購入してきたチャイルドシートを使用しています。
- 2002年度の乳児用チャイルドシート(後ろ向き)の試験において、ダミー頭部の初期姿勢の違いにより試験結果に影響を及ぼした可能性があるとの指摘により、次年度以降の試験においてダミー頭部をチャイルドシートに接触させて試験を実施しています。
- 2003年度の試験から、幼児用チャイルドシートの腹部圧迫の程度について評価を行うため面圧計を使用した定量的な測定を行っています。

試験に使う子供ダミー



▶ 試験用シートが変わりました

- 2009年度の試験から、チャイルドシートを取り付ける試験用シートをトヨタ・エスティマから国の安全基準における試験で使用しているチャイルドシート試験専用のシートに変更して実施しています。



トヨタ・エスティマシート
(2008年度まで)



チャイルドシート試験専用シート
(2009年度から)

● 評価基準値の見直し

試験用シートの変更による影響を従来の試験との比較試験を実施して確認し、その結果に基づいて評価基準値の見直しを行いました。これは従来条件の評価結果と試験用シート変更後の評価結果をできるだけ継続して比較できるようにするために行った措置です。

▶ 評価方法

各カテゴリーの①～⑤の評価結果に応じて総合的に4段階で評価を行います。
※

優

4つの項目がすべて◎の場合
(×1つでもある場合は除く。)

良

4つの項目の中で◎が3つ、
○が1つの場合
(×1つでもある場合は除く。)

普

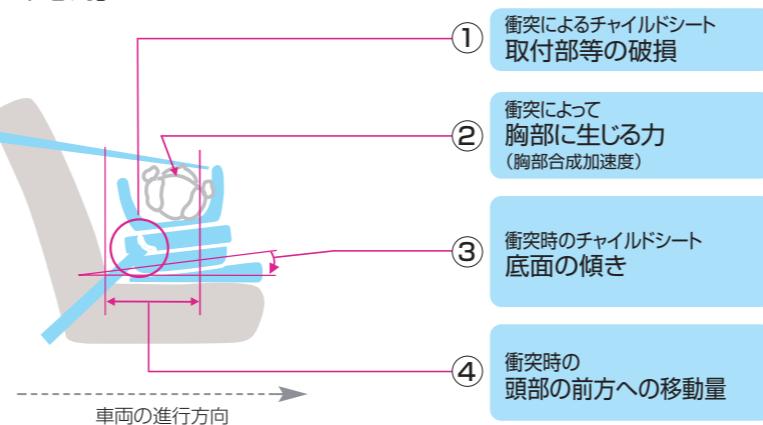
「優」、「良」
および
「推奨せず」に該当しない場合

推奨せず

評価項目の中で1つでも
×があった場合

「推奨せず」は、より高い安全性能を評価する本試験の観点からは、推奨するに至らないことを表しており、使用不可という意味ではありません。試験対象とした製品は、全て安全基準に適合しており一定レベルの安全性は確保されています。

乳児用 ベッド型



■は試験用シートの変更にともない見直しを行った評価基準値を示す。〔〕は2008年度までの旧評価基準値を示す。

- チャイルドシート取付部等の破損がない
- 軽微な破損(亀裂等)があるが、拘束が保持されている場合等
- × 強度を保持している部分の破損であって、本来の構造をとどめていない場合等

- 胸部合成加速度≤490m/s²(50G) [539m/s²(55G)<胸部合成加速度]
- 490m/s²(50G)<胸部合成加速度 [539m/s²(55G)<胸部合成加速度]

・衝突時に子供の胸部に発生する加速度が大きいと、胸に傷害を受ける可能性があります。

乳児用ベッド型試験の状況



- ベッドの底面が水平より前方に傾かない(頭部のはみ出しなし)
- ベッドの底面が水平まで傾く(頭部のはみ出しなし)
- × ベッドの底面が前方に傾くまたは頭部のはみ出し

・衝突時にベッド底面が前方に倒れすぎると、背中以外で荷重を受け、肩等に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。

- 頭部移動量≤575mm [600mm<頭部移動量≤750mm]

- 575mm<頭部移動量≤650mm [600mm<頭部移動量≤750mm]

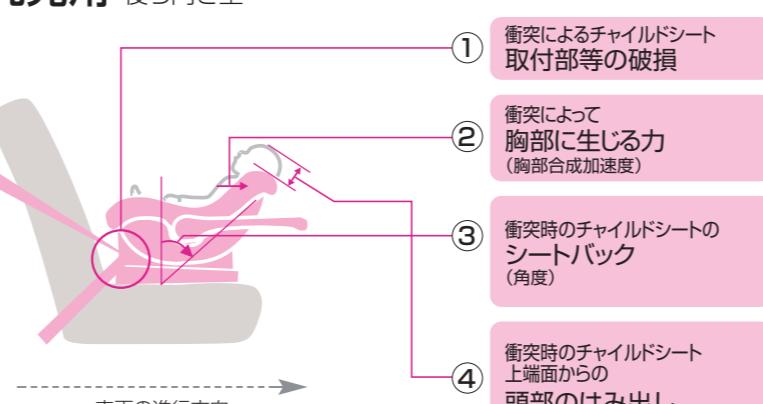
- × 650mm<頭部移動量 [750mm<頭部移動量]

・衝突時に子供の頭部が前方に移動しすぎると、前席に衝突し、傷害を受ける危険性があります。

- × 衝突時にパックルが解離した

- × 衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した

乳児用 後ろ向き型



- チャイルドシート取付部等の破損がない
- 軽微な破損(亀裂等)があるが、拘束が保持されている場合等
- × 強度を保持している部分の破損であって、本来の構造をとどめていない場合等

- 胸部合成加速度≤490m/s²(50G) [539m/s²(55G)<胸部合成加速度]
- 490m/s²(50G)<胸部合成加速度 [539m/s²(55G)<胸部合成加速度]

・衝突時に子供の胸部に発生する加速度が大きいと、胸に傷害を受ける可能性があります。

乳児用後ろ向き型試験の状況



- シートバックの傾き≤55° [シートバックの傾き≤60°]
- 55°<シートバックの傾き≤63° [60°<シートバックの傾き≤70°]
- × 63°<シートバックの傾き [70°<シートバックの傾き]

・衝突時にシートバックが車両前方に倒れすぎると、背中以外で荷重を受け、肩等に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。

- 頭部のはみ出しがない

- 頭部のはみ出しが73mm以内

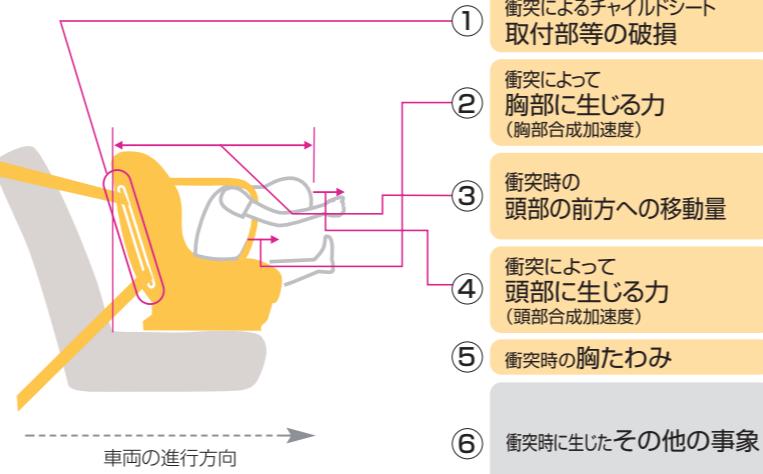
- × 頭部のはみ出しが73mmを超える

・衝突時に子供の頭部がチャイルドシート上端面から大きくはみ出すると、頭部が前席と接触したり、頸部に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。

- × 衝突時にパックルが解離した

- × 衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した

幼児用



- チャイルドシート取付部等の破損がない
- 軽微な破損(亀裂等)があるが、拘束が保持されている場合等
- × 強度を保持している部分の破損であって、本来の構造をとどめていない場合等

- 胸部合成加速度≤588m/s²(60G) [60G<胸部合成加速度]

・衝突時に子供の胸部に発生する加速度が大きいと、胸に傷害を受ける可能性があります。

- 頭部移動量≤525mm [550mm<頭部移動量≤570mm]

- 525mm<頭部移動量≤600mm [550mm<頭部移動量≤700mm]

- × 600mm<頭部移動量 [700mm<頭部移動量]

・衝突時に子供の頭部が前方に移動しすぎると、前席に衝突し、傷害を受ける危険性があります。

- 頭部合成加速度≤637m/s²(65G) [700m/s²(70G)<頭部合成加速度]

- 637m/s²(65G)<頭部合成加速度 [784m/s²(80G)<頭部合成加速度]

・衝突時に子供の頭部に発生する加速度が大きいと、頭部に傷害を受ける可能性があります。

肋骨の底付き信号がONの場合はコメントを行う

- × 衝突時にパックルが解離した

- × 衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した

・衝突時にハーネスが腹部等身体の弱い部分を圧迫する等幼児に傷害を与えるおそれがある

・幼児用の場合、ハーネスやシールド等が肩および骨盤において身体を拘束する必要があります。これらの拘束が適切でなく、身体の弱い部分(頸部、腹、股間等)を圧迫して身体を拘束している場合が該当します。

幼児用試験の状況



頭部合成加速度≤784m/s²(80G)

※インパクトシールドタイプ(自動車のシートベルトにより、インパクトシートに計測範囲を超える大きな変形を生じさせるため、腹部への圧力を正確に

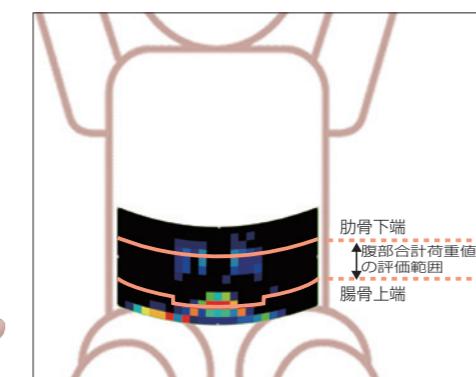
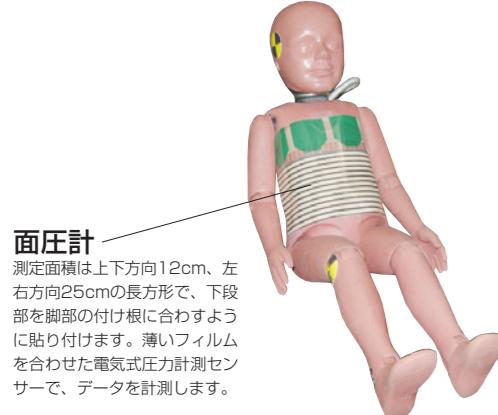
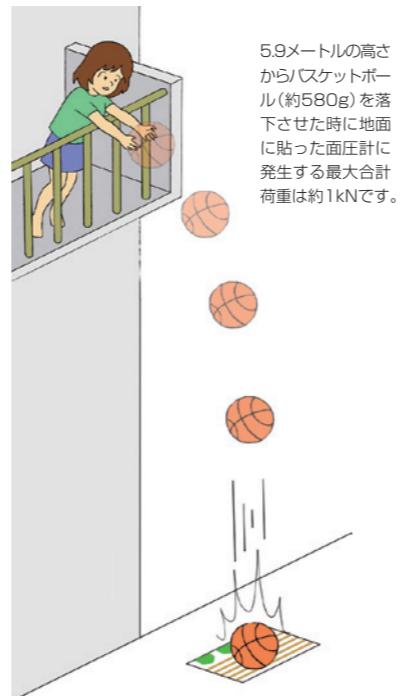
ルド(衝突試験時、子供の体が飛び出さることを防ぐ拘束装置)を介して、チャイルドシートと子供の体を一体化して拘束するタイプ)のチャイルドシートについては、インパクトシールドがダミー胸部や腹部計測できないことがあります。腹部圧迫計測を開始した2003年度以降の試験対象機種の前面衝突試験の総合的な評価を行っていません。

腹部圧迫の計測方法

衝突時に幼児の腹部を圧迫するチャイルドシートがあるため、2003年度から幼児用チャイルドシート試験時にダミー腹部に面圧計を装着して腹部圧迫の程度を定量的に測定しています。腹部とみなされる肋骨の下端から骨盤(腸骨部分)の上端にかかる荷重の総和を腹部合計荷重として、その値が幼児の身体に傷害を与えるとみなされる1.30kN(※2006年度までは1.38kN)を超える場合は「その他の事象」の評価を「X」としています。

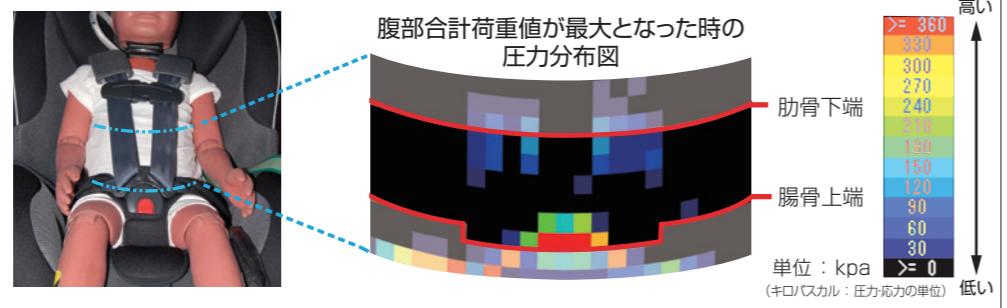
注意ポイント

- 試験に使用している3歳児ダミー(Hybrid-III 3YO)は人体と同じではなく、腹部は約50mm以上凹まない構造となっています。一方、胸部は約40mm以上凹まない構造となっており、腹部の凹み量と異なっています。このため、限界まで圧迫が加わると、胸部と腹部の圧力を正しく計測できません。
- 腹部合計荷重が最大となった時の圧力分布図については、最大荷重が発生した時間の圧力分布の状況を見やすくしたものであり、実際の面積とは異なります。



腹部圧迫の計測結果例

腹部合計荷重値
0.437kN
↑
1.30kN以下なので○



◎腹部圧迫の計測結果は、チャイルドシートアセスメントの各試験機種の掲載ページでご覧になります。

独立行政法人 自動車事故対策機構チャイルドシートアセスメントのホームページ

http://www.nasva.go.jp/mamoru/child_seat_search



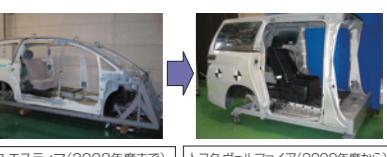
▶ 試験方法

チャイルドシートを実際に使用される際、誤った取り付けが多数見受けられます。ユーザーが自動車の座席にチャイルドシートを取り付ける際、確実に取り付けられるように配慮されているなどを、複数のチャイルドシートの専門家が判定しています。



試験用車両の変更

- チャイルドシートの取付性等を評価する場合に使用する車両(カットボディ)を「トヨタ・エスティマ」から汎用型ISO-FIXチャイルドシート適応車の「トヨタ・ヴェルファイア」に変更しました。



トヨタ・エスティマ(2008年度まで) トヨタ・ヴェルファイア(2009年度から)

▶ 評価方法

内容ごとに5点満点で点数をつけ、評価項目ごとの平均点を表示します。

取扱説明書等

- 取扱説明書等**
- 取り付けおよび装着について説明がある。技術基準に定めるすべての記述がある。
 - 取り付けおよび装着について、図版と文章で理解ができる。
 - 助手席装着時の警告がある。技術基準に定める表記がある。
 - 取り付けおよび装着について、子供の体格別に説明がされている。
 - 取り付け後の確認方法が記載されている。

- 梱包箱の表示**
- 対象となる体重、身長のいずれかが表示(日本語)されている。技術基準に定める表示・適合基準表示がある。



取扱説明書はわかりやすくまとめられているか、自動車に詳しくない方でも理解できるかを判断します

本体表示

ベルトガイド

- 文字によって表示している。

表示内容

- 取り付け方法の表示がある。
- 助手席装着時の警告がある。技術基準に定める注意・警告が表示されている。
- 表現が適切で、誤解が生じない。
- 製品の問い合わせ先が表示されている。
- 製品が適合する基準が表示(マーク等でも可)されている。



本体の機構

可動機構(リクライニング・回転の操作性)

- 確実にロックする。
- レバースイッチの位置が分かりやすい。

確実に稼働してさまざまな機構がスムーズに動くか、レバー位置がわかりやすいか判断します

コネクタ及びトップテザーが簡単に操作できる。

シートカバー(メンテナンスの容易性)

- シートカバーを脱着した場合、ハーネス等の取り付けが間違えにくく、確実に取り付けられる。

収納部(取扱書・付属品の収納)

- 取扱説明書および付属品(ある場合)の収納部がある。

車への装着性

ベルト・ルーティング

- 間違えにくく、通しやすい。車両側ベルトのねじれや折れが発生しない。

固定の確実性

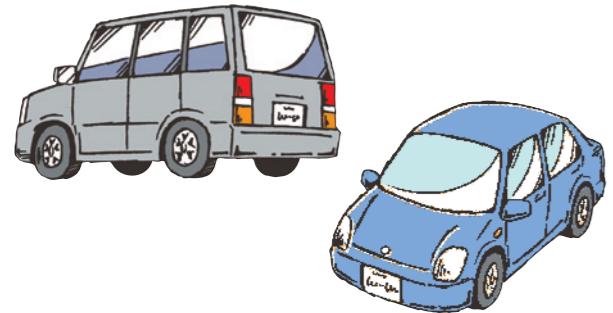
- 一人で容易に確実な締め付けができる。
- 固定金具等は使いやすく、十分な固定ができる。
- 前向き等:取り付け後ぐらつきがない(98Nで上部を引き寄せた時、移動量が5cm未満)。
- 後ろ向き:シートバックの角度が45度±10度未満である。
- 音や表示等により確実に固定されていることが確認できる。



① 自動車との適合性

すべてのチャイルドシートが、すべての自動車に取り付けられるわけではありません。チャイルドシートメーカーなどから出されている「車種別チャイルドシート適合表」などを参考に取り付けられるかどうかを確認して、自分の自動車に適合したチャイルドシートを選びましょう。

自動車はサイズも形状もさまざま

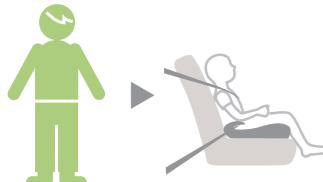


② 子供の体格による使い分け

チャイルドシートは体重、身長を目安に「乳児用」「幼児用」「学童用」と3つの種類に分かれているため、子供の成長に合わせてチャイルドシートを使い分ける必要があります。子供の体格にあつた製品を選びましょう。

学童用について

学童用 ジュニアシートと呼ばれることもあります。



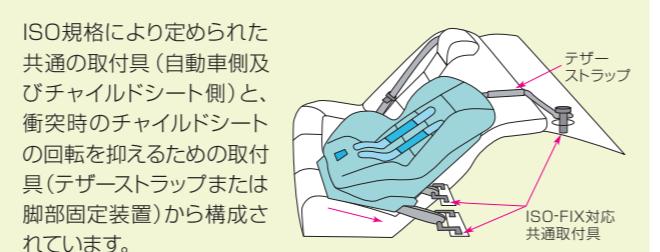
適用体重15~36kg
身長が135cm以下
4~10歳くらい

学童用は車両のシートベルトの性能によるものが大きいということアセメントの対象としていません。チャイルドシートの使用義務は6歳未満ですが、シートベルトが正しく利用できるまでは、学童用シートを必ず使用しましょう。

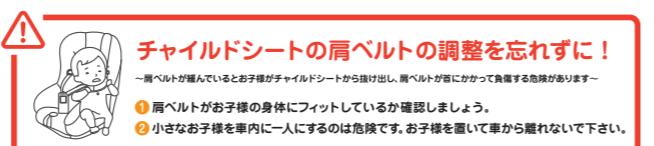
注：対象となる身長、年齢は目安です。

③ 取り付け方法

市販されている多くのチャイルドシートは、自動車のシートベルトを用いて座席に固定する方法ですが、最近では共通取付具(ISO-FIX)により自動車側の座席とチャイルドシートを固定するタイプが市販されています。また、2012年7月以降新たに販売される乗用車（乗車定員10人未満）には、ISO-FIXチャイルドシート対応の共通取付具が装備されています。ISO-FIXチャイルドシートは取り付けが簡単なことから、自動車のシートベルトを用いて座席に固定するタイプに比べ、取り付け時のミスユースが少ないとされています。



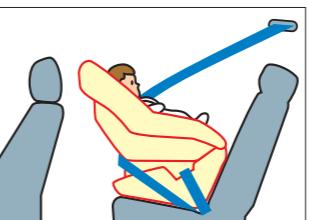
チャイルドシート固定機能付シートベルト
(ALR[自動ロック]付きELR[緊急ロック]式シートベルト)



1. チャイルドシートの取り付け方向

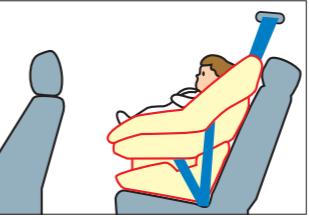
<乳児用>

乳児は、骨格等が未発達のため、衝撃をなるべく体の広い面で受け止める必要があり、頭部から背中にかけて体全体で支えられるように、乳児用チャイルドシート（ベビーシートとも呼ばれます。）を使用します。乳児用チャイルドシートは後ろ向きまたは横向きに取り付けます。



<幼児用>

幼児が自分で座れるようになったら、幼児用チャイルドシートを使用します。幼児用チャイルドシートは前向きに取り付けます。



2. しっかりと固定する

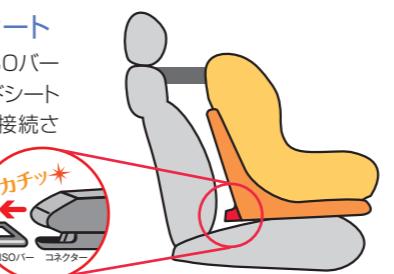
自動車シートベルト固定タイプ

取扱説明書に従いしっかりと固定することが必要です。前向きのチャイルドシートの場合、取り付けられたチャイルドシートの上端部に前方向に力を加えても大きく動かないよう（揺れは約30mm以内が目安）しっかりと固定しましょう。ベルトストッパーがある場合、先にチャイルドシートに体重をかけ、車両の腰ベルトのみで固定できるぐらいい車両ベルトを引っ張り、ベルトストッパーで留めるとうまくできます。



ISO-FIXチャイルドシート

車の座席に取り付けられたISOバー（取り付け金具）にチャイルドシート側のコネクターとしっかりと接続させます。



3. 注意事項

後部座席に取り付けよう

助手席にエアバッグが装備されている場合に、助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けることは、極めて危険ですので絶対にやめましょう。



やけどに注意

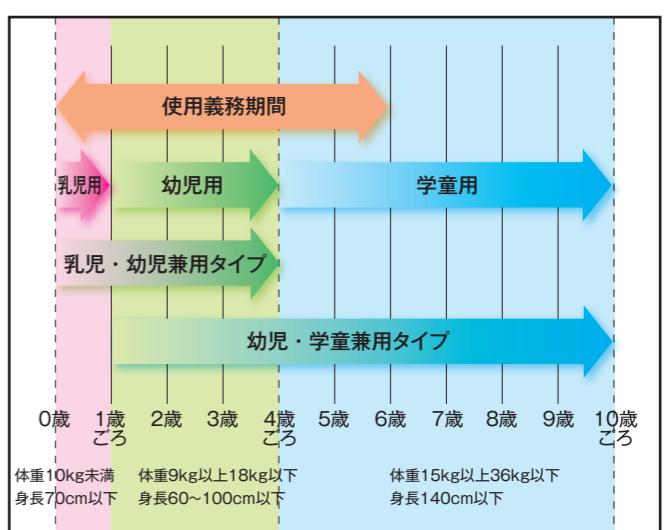
炎天下での駐車時には、チャイルドシート本体、バッフル、ベルトの金具部分などが熱くなり、やけどするおそれがあります。子供を着座させる際には、各部に触れて、確認した上で使用しましょう。



4. チャイルドシート交換の目安

兼用タイプは、装着の仕方や使用方法が使用時期によって異なりますので、チャイルドシートの交換時期を間違えないように注意しましょう。

下図はチャイルドシート交換時期の目安です。



チャイルドシート安全基準マーク

国土交通省の安全基準に適合したものには以下のようない型式指定マークか、型式認定マークが品に表示してあります。なお、2006年10月にチャイルドシートに関する基準見直しが行われ、自動車基準の国際調和の観点から、国連の車両装置などの型式認定相互承認協定（1958年協定）に基づく規則第44号（第4改訂版）と整合が図られました。



米国の基準適合マーク (FMVSS No.213)

This child restraint is designed for use only by children who weigh between 7.5 and 40 pound and are between 20 and 40 inches in height.	体重区分 3.4 Kg~19 Kg 身長区分 51cm~102 cm
This child restraint system conforms to all applicable Federal motor vehicle safety standards.	このチャイルドシートは、FMVSSの基準に適合
This Restraint is Certified for Use in Motor Vehicles and Aircraft.	自動車、もしくは航空機に使用するものに限る

交通事故の衝撃の大きさを知っていますか?

万一の事故の際、ママの抱っこではお子様を守りきれません。時速50kmの衝突時、抱いているお子様の体重は実際の約30倍にもなり、わずか5kgの赤ちゃんでさえ約150kgにもなってしまうのです。車内のお子様を守るためにチャイルドシートが必要不可欠なのです。



衝突の瞬間に
10kgの赤ちゃんが
300kgにもなります。

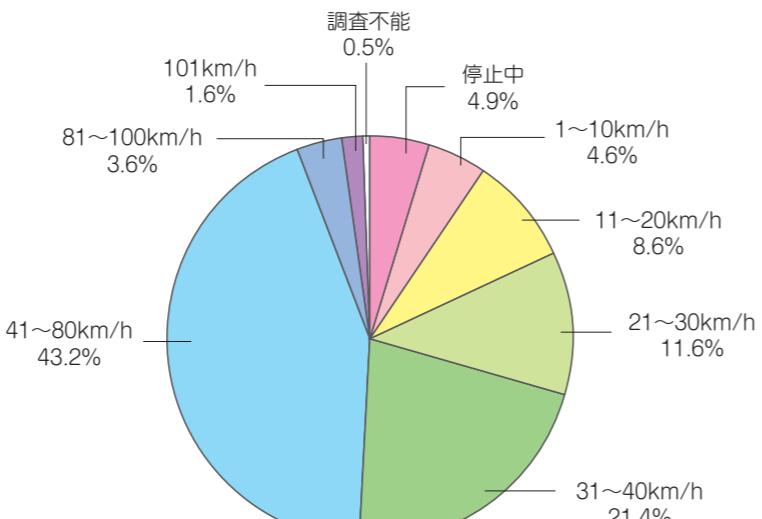
(資料提供：日本自動車工業会)

低速であってもチャイルドシートの適切な取り付けが必要です!

●自動車乗車中の死傷者数が多い幼児の事故は、土曜・日曜に多く、また走行目的としては「買い物」31%、「訪問」21%、「通学通園」10%等となっています。

●これらの目的は近隣走行が多いので、それほどスピードは出ていないと思われますが、チャイルドシート非着用者が死亡・重傷した衝突自動車の速度をみると、時速40km/h以下が50%を占めています。

●この結果は、チャイルドシートを使わない場合、低速で走っていても被害が大きく、チャイルドシートの必要性が理解できます。



(資料提供：日本自動車工業会)

自動車に取り付けられるチャイルドシートを正しく選んで、正しく取り付けしてお子様を自動車に乗車させる時は必ずチャイルドシートに座らせましょう!



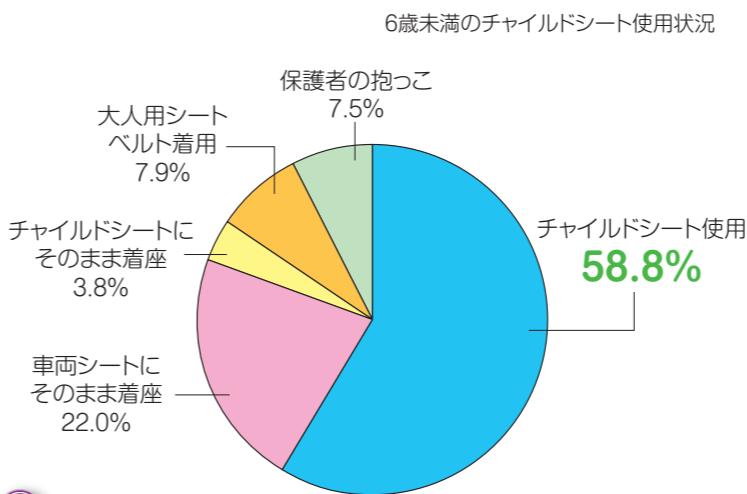
すんなりと
お子様を チャイルドシートに
座らせるポイント

- 座るまで発進しない
- 歌や遊びで楽しく
- 降りるときにもほめる
- 座ったらほめる
- ドライブ中はこまめに休憩

Why チャイルドシート使用率 58.8%?

警察庁と日本自動車連盟（JAF）が行ったチャイルドシート使用状況全国調査（2012）の結果によれば、依然、約2人に1人がチャイルドシート不使用という結果が出ました。

チャイルドシート使用状況調査結果



チャイルドシート使用状況の概要

年齢層	乗車人数	使用人数	使用率
1歳未満	1,671	1,296	77.6%
1歳～4歳	8,932	5,443	60.9%
5歳	2,338	869	37.2%
6歳未満全体	12,941	7,608	58.8%

独立行政法人自動車事故対策機構とは

私ども自動車事故対策機構は、人と車の共存を理念として、自動車事故の発生防止及びその被害者への援護のために、次の業務を行っております。



守る（自動車アセスメント業務）

安全な自動車の普及・促進をはかるために、中立公正な立場で自動車アセスメント情報を積極的に公表しています。

防ぐ（安全指導業務）

自動車事故の発生防止のために、

- ・運行管理者等指導講習により、安全の確保に必要な管理手法の習得
- ・運転者適性診断により、運転の特性を診断し安全運転に役立つきめ細かなアドバイス
- ・安全マネジメント講習会等により、運輸安全マネジメントの浸透・定着
- ・運輸安全マネジメント評価・コンサルティング等により、個別事業者の安全マネジメント体制を支援などの業務を行っています。

支える（被害者援護業務）

自動車事故による被害者の方の援護のために、

- ・介護料の支給や医療施設の設置・運営による重度後遺障害者への援護
- ・育成資金の無利子貸付や友の会の運営・家庭相談による交通遺児等への援護などの業務を行っています。

NASVA
交通事故被害者ホットライン
☎ 0570-000738

※固定料金であれば、全国どこからでも3分8.5円(税別)で通話することができます。

NASVAとは、独立行政法人 自動車事故対策機構の英訳名 (National Agency for Automotive Safety & Victims' Aid) の略称で、「ナスバ」と発音します。

国土交通省

クルマの異常を、連ラクダ！



最近、自動車に乗っていたら異常発生、なんてことありませんでしたか。

そんな時は、車検証を用意して、国土交通省「自動車不具合情報ホットライン」に連絡です。

皆様の声は、車種ごとに、ホームページ上で公開され、

メーカーがきちんとリコールをしたり、メーカーのリコール隠しを防ぐために活用されます。

ホームページ受付



www.mlit.go.jp/RJ/

フリーダイヤル受付 **0120-744-960** (平日9:30~12:00 13:00~17:30)

自動音声受付 **03-3580-4434** (年中無休・24時間)

※メーカー・販売店とのトラブルの解決、故障の修理の受付など個人的な相談をする窓口ではありません。



パンフレットはインターネットでもご覧になれます。

独立行政法人 自動車事故対策機構 企画部 安全情報グループ

〒130-0013 東京都墨田区錦糸3-2-1 アルカイースト19階

TEL:03(5608)7587 FAX:03(5608)8610

ホームページ

<http://www.nasva.go.jp>

●キーワード検索で

NASVA

検索

○本パンフレットは、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に基づく基本方針の基準を満たす紙を使用しています。

※無断転載を禁ず

監修：国土交通省

発行：独立行政法人 自動車事故対策機構

2013.3